

■『ドローンビジネス調査報告書 2021【インフラ・設備点検編】』目次

- 第1章 インフラ・設備点検における ドローンの役割とビジネスモデル
 - 1.1 ドローンの定義と分類
 - 1.1.1 本書で取り扱う「ドローン」の定義
 - 1.1.2 ドローンの分類
 - 1.1.3 民生用（ホビー用）と業務用
 - 1.1.4 回転翼と固定翼、VTOL
 - 1.1.5 水中ドローン
 - 1.1.6 超小型ドローン
 - 1.2 インフラ点検の現状とドローンを活用した点検手法について
 - 1.2.1 インフラの現状
 - 1.2.2 ドローンの有用性
 - 1.2.3 ドローンを活用した点検の価値と効果
 - 1.3 点検分野におけるプレイヤー
 - 1.3.1 ハードウェア（機体）
 - 1.3.2 ハードウェア（パーツ）
 - 1.3.3 サービス提供事業者
 - 1.3.4 点検事業者
 - 1.3.5 利用者（国、自治体、団体、自社活用企業）
 - 1.4 点検分野におけるドローン活用のビジネスモデル
- 第2章 インフラ点検分野における最新動向
 - 2.1 大手企業のドローンソリューション導入が加速、行政は社会実装を見据えた環境整備を進めた一年
 - 2.2 ドローンが切り開く新しい点検市場
 - 2.3 点検用途のユーザーから高い注目を集める「DJI Matrice 300 RTK」
 - 2.4 DJI 製ドローンを代替する“Made in USA”ドローン
 - 2.5 ドローンを活用した点検に必要となる人材
 - 2.6 屋内におけるドローン点検サービス市場の拡大
 - 2.7 ドローン活用のフィールドは水中へ
 - 2.8 事後保全からドローンを活用した予防保全へ
 - 2.9 レベル4実現に向けた新しい制度が与える影響
 - 2.10 新しい制度の一つである機体登録制度が創設される
 - 2.11 「空の産業革命に向けたロードマップ2020」、新たに「社会実装」を視野に
 - 2.12 インフラ点検のドローン利用を後押しする規制改革推進会議の答申

2.13 2020年12月頃、携帯電話の上空利用が可能に

第3章 産業分野別のドローンビジネスの現状と課題

3.1 全体動向

3.2 橋梁

3.2.1 現況

3.2.2 従来の点検手法

3.2.3 ドローン活用の現況

3.2.4 ドローン活用のメリット・特長

3.2.5 主なプレイヤー

3.2.6 代表的なハードウェア

3.2.7 課題

3.2.8 今後の展望

3.3 トンネル・洞道

3.3.1 現況

3.3.2 従来の点検手法

3.3.3 ドローン活用の現況

3.3.4 ドローン活用のメリット・特長

3.3.5 主なプレイヤー

3.3.6 代表的なハードウェア

3.3.7 課題

3.3.8 今後の展望

3.4 ダム

3.4.1 現況

3.4.2 従来の点検手法

3.4.3 ドローン活用の現況

3.4.4 ドローン活用のメリット・特長

3.4.5 主なプレイヤー

3.4.6 代表的なハードウェア

3.4.7 課題

3.4.8 今後の展望

3.5 送電網

3.5.1 現況

3.5.2 従来の点検手法

3.5.3 ドローン活用の現況

3.5.4 ドローン活用のメリット・特長

3.5.5 主なプレイヤー

- 3.5.6 代表的なハードウェア
- 3.5.7 課題
- 3.5.8 今後の展望
- 3.6 基地局鉄塔
 - 3.6.1 現況
 - 3.6.2 従来の点検手法
 - 3.6.3 ドローン活用の現況
 - 3.6.4 ドローン活用のメリット・特長
 - 3.6.5 主なプレイヤー
 - 3.6.6 代表的なハードウェア
 - 3.6.7 課題
 - 3.6.8 今後の展望
- 3.7 ソーラーパネル
 - 3.7.1 現況
 - 3.7.2 従来の点検手法
 - 3.7.3 ドローン活用の現況
 - 3.7.4 ドローン活用のメリット・特長
 - 3.7.5 主なプレイヤー
 - 3.7.6 代表的なハードウェア
 - 3.7.7 課題
 - 3.7.8 今後の展望
- 3.8 一般住宅
 - 3.8.1 現況
 - 3.8.2 従来の点検手法
 - 3.8.3 ドローン活用の現況
 - 3.8.4 ドローン活用のメリット・特長
 - 3.8.5 主なプレイヤー
 - 3.8.6 代表的なハードウェア
 - 3.8.7 課題
 - 3.8.8 今後の展望
- 3.9 大規模建造物（ビル・工場・倉庫など）
 - 3.9.1 現況
 - 3.9.2 従来の点検手法
 - 3.9.3 ドローン活用の現況
 - 3.9.4 ドローン活用のメリット・特長
 - 3.9.5 主なプレイヤー

- 3.9.6 代表的なハードウェア
- 3.9.7 課題
- 3.9.8 今後の展望
- 3.1 下水道
 - 3.10.1 現況
 - 3.10.2 従来の点検手法
 - 3.10.3 ドローン活用の現況
 - 3.10.4 ドローン活用のメリット・特長
 - 3.10.5 主なプレイヤー
 - 3.10.6 代表的なハードウェア
 - 3.10.7 課題
 - 3.10.8 今後の展望
- 3.11 プラント
 - 3.11.1 現況
 - 3.11.2 従来の点検手法
 - 3.11.3 ドローン活用の現況
 - 3.11.4 ドローン活用のメリット・特長
 - 3.11.5 主なプレイヤー
 - 3.11.6 代表的なハードウェア
 - 3.11.7 課題
 - 3.11.8 今後の展望
- 3.12 風力発電
 - 3.12.1 現況
 - 3.12.2 従来の点検手法
 - 3.12.3 ドローン活用の現況ビジネスモデル
 - 3.12.4 ドローン活用のメリット・特長
 - 3.12.5 主なプレイヤー
 - 3.12.6 代表的なハードウェア
 - 3.12.7 課題
 - 3.12.8 今後の展望
- 3.13 建築物設備
 - 3.13.1 現況
 - 3.13.2 従来の点検手法
 - 3.13.3 ドローン活用の現況
 - 3.13.4 ドローン活用のメリット・特長
 - 3.13.5 主なプレイヤー

- 3.13.6 代表的なハードウェア
- 3.13.7 課題
- 3.13.8 今後の展望
- 3.14 船舶
 - 3.14.1 現況
 - 3.14.2 従来の点検手法
 - 3.14.3 ドローン活用の現況
 - 3.14.4 ドローン活用のメリット・特長
 - 3.14.5 主なプレイヤー
 - 3.14.6 代表的なハードウェア
 - 3.14.7 課題
 - 3.14.8 今後の展望
- 3.15 鉄道施設
 - 3.15.1 現況
 - 3.15.2 従来の点検手法
 - 3.15.3 ドローン活用の現況
 - 3.15.4 ドローン活用のメリット・特長
 - 3.15.5 主なプレイヤー
 - 3.15.6 代表的なハードウェア
 - 3.15.7 課題
 - 3.15.8 今後の展望
- 3.16 水中構造物
 - 3.16.1 現況
 - 3.16.2 従来の点検手法
 - 3.16.3 ドローン活用の現況
 - 3.16.4 ドローン活用のメリット・特長
 - 3.16.5 主なプレイヤー
 - 3.16.6 代表的なハードウェア
 - 3.16.7 課題
 - 3.16.8 今後の展望
- 3.17 その他

第4章 各省庁の動向

- 4.1 全体的な動向
- 4.2 国土交通省の動向
- 4.3 経済産業省の動向

4.4 内閣府の動向

4.5 総務省の動向